

地域バイオマス利活用交付金(ソフト事業)

東北農政局

都道府県	市町村名	地区名	事業実施主体名	事業内容	評価年度	目標	達成状況	個別成果指標	達成状況	総合評価			備考
										事業実施主体	市町村	農政局等	
[バイオマスタウン構想を策定するために必要な事業への支援]													
宮城県	大郷町	大郷町	大郷町	1. バイオマスの利活用の推進 (1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・地域状況の整理 ・地域有効資源の賦存量の把握 ・地域有効資源の利用の現状 ・有効資源利活用事業のメニュー検討と評価 ・事業形態、事業手法の検討と評価 ・事業性総合評価及び事業化方針の決定 ・構想書策定	H21	バイオマスタウン構想へのステップアップ 年度:平成20年度	○	・バイオマスの賦存状況等を踏まえた今後の取り組みをホームページや広報紙等で全戸(平成20年2月末現在2,567戸)に紹介し、構想策定への理解を求めるとともに、循環型社会形成の必要性を啓発する。 ・既存組織の活用も含めバイオマス構想を推進するための組織体制を整備する。	○	事業内容をすべて実施し、平成21年3月にバイオマスタウン構想を公表したことにより目標を達成した。 個別成果指標は、バイオマス構想策定専門委員会を設置し、バイオマス構想を検討するなど体制整備を行い、ホームページ(2回)、広報紙(1回)に掲載することで町民等に周知を図るなどにより達成された。	同左	事業内容をすべて実施し、個別成果指標を達成すること等により、町民のバイオマスタウン構想への理解を深め、21年3月に大郷町バイオマスタウン構想を公表し目標は達成されたと認められる。	
秋田県	北秋田市	北秋田市	北秋田市	1. バイオマスの利活用の推進 (1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・協議会の開催3回 ・先進地視察 ・利活用講演会1回	H21	バイオマスタウン構想へのステップアップ 年度:平成20年度	○	・講演会の開催:参加人員480人。 ・広報誌の活用:配布数14,788世帯。	○	事業内容をすべて実施し、平成20年11月にバイオマスタウン構想を公表したことにより目標を達成した。 個別成果指標は、講演会の開催(1回、参加者約500人)、バイオマスタウン構想概要版15,000部を作成し各世帯へ配布し市民の理解を深めるなどにより達成された。	同左	事業内容をすべて実施し、個別成果指標を達成すること等により、市民のバイオマスタウン構想への理解を深め、20年11月に北秋田市バイオマスタウン構想を公表し、目標は達成されたと認められる。	
福島県	南会津町	南会津町	南会津町	1. バイオマスの利活用の推進 (1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・バイオマス利活用推進会議等の開催 ・先進地視察 ・構想の公認	H21	バイオマスタウン構想へのステップアップ 年度:平成20年度	○	・研修参加者8名が先進地の取り組みを理解。	○	事業内容をすべて実施し、バイオマスタウン構想を平成21年4月に公表したことにより目標を達成した。 個別成果指標は、いきいき健康農業推進員がバイオマスの利活用を實踐している町内先進地の取組みについて視察調査し、その結果を生ごみばかし肥料づくり講習会(8か所・64名参加)において普及啓発し、参加者の理解を深めたことなどにより達成された。	同左	事業内容をすべて実施し、個別成果指標を達成すること等により、町民のバイオマスタウン構想への理解を深め、21年3月に南会津町バイオマスタウン構想(案)を農政局に提出されたことから、目標は達成されたと認められる。 なお、南会津町バイオマスタウン構想は21年4月に公表されている。	
福島県	鮫川村	鮫川村	鮫川村	1. バイオマスの利活用の推進 (1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・協議会の開催 2回 ・利活用講演会1回 ・先進地視察研修会1回 ・キクイモのエタノール化実証試験2回 ・落ち葉実証試験1回 ・堆肥・農産物分析調査	H21	バイオマスタウン構想へのステップアップ 年度:平成20年度	○	・利活用講演会の開催等により、全村民の80%に啓発する。 8割:3,200人/4,000人	○	事業内容をすべて実施し、バイオマスヴィレッジ構想を平成20年9月に公表したことにより目標を達成した。 個別成果指標は、バイオマスヴィレッジ構想研修会(100名参加)を開催し、鮫川村バイオマス調査結果検討を行い、また、鮫川村広報により村内全戸に配布し、村民にバイオマスヴィレッジ構想の啓発・周知をするなどにより達成された。	同左	事業内容をすべて実施し、個別成果指標を達成すること等により、村民のバイオマスヴィレッジ構想への理解を深め、20年9月にバイオマスヴィレッジ構想を公表し、目標は達成されたと認められる。	

地域バイオマス利活用交付金(ソフト事業)

東北農政局

都道府県	市町村名	地区名	事業実施主体名	事業内容	評価年度	目標	達成状況	個別成果指標	達成状況	総合評価			備考	
										事業実施主体	市町村	農政局等		
【バイオマスタウン構想に沿ったバイオマス利活用システムを実現させるために必要な事業への支援】														
秋田県	横手市	横手市	横手市	1. バイオマスの利活用の推進 (2)バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・推進協議会の開催 ・先進地視察 ・バイオマスフォーラムの開催 ・メタン発酵施設導入調査	H21	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・バイオマスフォーラム動員数 300名。	○	事業内容のすべてを実施し、住民への啓発活動を通じて、バイオマスに関する理解を深めることができたことから目標は達成した。 個別成果指標は、バイオマスフォーラムの動員数が未達成(120名)であったため、当市のバイオディーゼル燃料の取り組みを周知するためのパンフレットを2,600部作成し、住民への啓発活動を行ったことなどから、バイオマスに関する理解を深めることができた。 さらに、啓発活動の成果として、十文字地域では、十文字道の駅に常設廃食用油回収スポットを設置、モデル地区600世帯から廃食用油を回収してバイオディーゼル燃料の精製を行い公用車等で利用するなど、タウン構想実現のための取組を実施し、個別成果指標についても概ね達成された。	同左	個別成果指標の動員数は達成しなかったが、パンフレットの作成・配布等の啓発活動を通じてバイオマスに関する住民の理解を深めることができた。平成20年度事業内容すべてを実施すること等により、目標は概ね達成できたと認められる。		
福島県	会津美里町	会津美里町	会津美里町	1. バイオマスの利活用の推進 (2)バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・バイオマス利活用協議会の開催 ・たい肥原料搬入システムの検討 ・たい肥化施設運営体制の検討 ・たい肥の搬出、流通、散布システムの検討	H21	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・農村部地域の一般家庭の生ゴミ10tの収集実験を行う。	○	事業内容のすべてを実施し、町民のバイオマスタウン構想への理解が図られ目標は達成した。 個別成果指標は、農村部の一般家庭の生ゴミ(12t)及び果樹剪定枝(1.2t)を収集し達成された。	事業内容のすべてを実施し、町民のバイオマスタウン構想への理解が図られた。また福島県土地改良事業団体連合会においても事業内容のすべてを実施し、町が行ったバイオマスタウン構想の実現に向けての普及啓発活動に貢献でき、目標は達成した。 個別成果指標は、農村部の一般家庭の生ゴミ(12t)及び果樹剪定枝(1.2t)を収集し、たい肥を生産、施用実験や近隣農家へたい肥の提供なども行い達成された。	会津美里町及び福島県土地改良事業団体連合会が実施主体として計画した平成20年度事業内容をすべて実施し、個別成果指標を達成すること等により、町民のバイオマスタウン構想への理解が図られ目標は達成されたと認められる。		
福島県	会津美里町	会津美里町	福島県土地改良事業団体連合会	1. バイオマスの利活用の推進 (2)バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・果樹剪定枝の収集、粉砕、運搬 ・たい肥生産実験 ・水稲の特別栽培実験	H21	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・農村部地域の一般家庭の生ゴミ10t及び果樹剪定枝1t等を収集し、たい肥化実験を行う。	○	事業内容のすべてを実施し、町が行ったバイオマスタウン構想の実現に向けての普及啓発活動に貢献でき、目標は達成した。 個別成果指標は、一般家庭の生ゴミ(12t)及び果樹剪定枝(1.2t)を収集し、たい肥を生産、施用実験や配布などを行い達成された。				